

令和8年5月27日

保護者 様

松山市立勝山中学校
校長 森脇 和夫

警報発令時等における対応について

保護者の皆様には、日頃よりご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、台風等による**暴風警報等・警戒レベル**が発表された場合や**大規模地震**が発生した場合の生徒の安全を確保するために、下記のように対応すると令和8年4月にお知らせしているところですが、この度、令和8年5月29日から、気象警報などの名称や運用が変わることに伴い、一部内容の修正（**下線の箇所**）を行いました。引き続き、連絡は、teturuでの配信並びにMACシステムや勝山中学校のホームページにてお知らせいたしますので、適切にご対応いただきますようお願いいたします。

記

I 「暴風警報」・「暴風〇〇警報」・「特別警報」の発表時

登校前の「**暴風警報**」「**暴風〇〇警報**」は**自宅待機**、「**特別警報**」は**臨時休業**とする。

警報等が解除になった時刻	登校時間	時 間 割
午前7時まで	8時15分	1・2・3・4・給食・5・6校時
7時以降 <u>11時</u> まで	13時	(家庭で昼食をとり) 5・6校時
<u>11時</u> 以降	臨時休業	

※ ただし、登校が危険だと判断される場合は、家庭の判断で待機させてください。

※ 登校後「**暴風警報**」等が発表されたときは、学校の指示に従う。

※ 臨時休業後の登校日の時間割は、原則、臨時休業でできなかった該当日の時間割とする。

II 「警戒レベル」（自宅地区）の発令時

時刻	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル3 高齢者等避難 以下
午前7時まで	自宅待機	原則登校
<u>11時</u> 以降	臨時休業	○ 安全に登校できると判断した場合 ※② ○ 状況が著しく悪化した場合(警戒レベル4等)は、下校とします。 ※③
登校後	直ちに下校 ※①	

【警戒レベル4 **避難指示**】

※① ただちに授業を打ち切り、下校することとします。

○ 帰宅させる場合は、教職員が校区で下校の見守りを行い、安全確保に努めます。

○ 状況によっては、お迎えを依頼し、引渡しを行う場合があります。

○ **給食**を食べることができなかった場合、給食費の負担は各家庭にお願いすることになります。安全を第一に考えた対応ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【警戒レベル3 **高齢者等避難**以下】

※② 基本的には、登校日とします。ただし、自宅や付近の状況により、危険な状況が認められたり、保護者が「登校することが危険だ」と判断したりした場合は、登校を控えて避難行動を優先し、その旨を学校にお知らせください。この場合は、出席停止扱いとします。

※③ 登校後の状況が著しく悪化した場合は、通学路の安全確認後に、下校します。

Ⅲ 地震の発生時

(1) 震度 5 強以上の地震	○ 授業を打ち切り、安全な場所へ避難させ、その後、保護者が迎えに来て直接引き渡すことを原則とする。 ○ 保護者への連絡方法は、ホームページやM A C システムで連絡する。
(2) 震度 5 弱以下の地震	○ 授業続行が可能な場合は、通常どおり実施する。下校は、通学路の安全を確認してから帰宅させる。 ○ 授業続行が不可能な場合は、(1)に準じて対応する。
(3) 学校外（登校前・帰宅後）において、地震が発生した場合	○ 震度 5 強以上の地震が発生した場合は、自宅または地域の避難場所へ避難する。学校は臨時休業とする。 ○ 震度 5 弱以下の地震の場合は、原則授業を実施することとする。 ただし、登校が危険だと判断される場合は、家庭の判断で待機させてください。

Ⅳ Jアラート発信対象地域による、緊急情報発信時

	対応	
登校前 (在宅中)	学校から指示があるまで 自宅待機	※ 学校は、その後の J アラート等によって安全が確認された場合、メール配信やHPにより登校を通知する。安全が確認されない場合は、臨時休校とする場合がある。
登校後	安全確保	※ 下の行動例に基づき安全確保をするとともに、J アラート等の情報伝達による安全が確認されるまでは下校しない。場合によっては、迎えを依頼することがある。

登校途中の場合は、次の行動例に従って安全確保に努めること。

1 Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

【屋外にいる場合】

- 近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- 近くに適当な建物がないときは、物陰に身を隠すか、地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合】

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

2 ミサイルが着弾した場合の行動例

- 近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチでおおいながら、その場から直ちに離れ、機密性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- 弾頭の種類に応じて被害状況や対応が大きく異なるため、テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。
- ※ 「弾道ミサイル落下時の行動等について」松山市のホームページにも掲載されていますので、ご参照ください。

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/kouhou/danndoumisairu.html>

※ 4月の文書と差し替え、本文書をすぐ分かる場所に貼るなど、保管をお願いします。